



## ♪ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ♪

「スポーツ！読書！文化！食欲の秋！」と社会教育の活発な活動をご覧ください。



### 取組の紹介

#### 高知県連合婦人会 ～スポーツ大会～ 10月17日(金)



色鮮やかに揃ったTシャツから各チームの団結力や気合が表れていました！



尾崎知事の挨拶

#### ～婦人会の強い絆～

高知県内の連合婦人会が一堂に会し、春野運動公園体育館で、心と体の健康づくりと交流を深めました。

当日は、来賓として尾崎知事をお迎えしました。澆刺とした婦人会の入場行進に知事から大きな拍手が送られていました。

県内7ブロックの出場でしたが、どのブロックも真剣勝負。しかし、ただ競い合うのではなく『強い絆で結ばれた仲間』という団結力で、体育館の中は皆さんの楽しそうな姿と明るい笑顔に溢れていました。

昨今の婦人会は、会員の年齢も上がったり、人数も少なくなったりと危惧されているところですが、婦人会の皆さんのパワーは、地域の繋がり、活性化になくってはならない存在であることを改めて実感しました。

#### ～瀬戸大橋～

ボールを頭の上、足の下から運びます。「くっついて～！」と叫ぶ声も聞こえました。



#### ～高知家「おもてなし」～

赤ちゃん？女学生？お母さん？衣装もいろいろ、各地域の名物を持ち寄って県や市町村の関係者に「おもてなし」をしてくれました。



#### ～365歩のマーチ～

高岡地区の谷崎会長のご指導で、参加者も気持ち良くリズムに乗って体を動かすことができました。



#### 大川村 謝肉祭

11月3日、大川村で31回目の謝肉祭が開かれました。県内外から約1500人の来客があったようです。村特産の大川黒牛やはちきん地鶏を堪能しました。美味しいお肉を食べながら和やかなライブやダンスを皆さん楽しんでいました。



# 「地域若者サポートステーション」をご存知ですか？

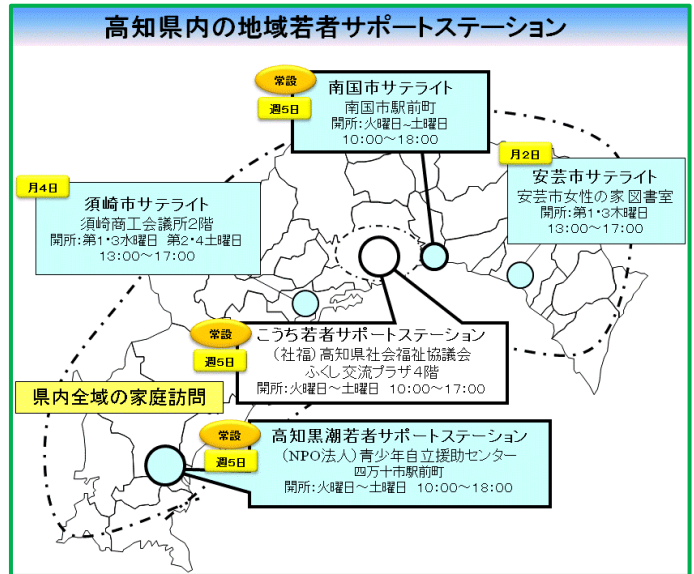
## ①何をしているところなの？

・「地域若者サポートステーション」とは、厚生労働省に認定され、高知県教育委員会から、「社会的自立に困難を抱える若者(おおむね15歳～39歳)の就学や就労に向けた支援」を業務委託されている支援機関です。

・個別相談、学習サポート、就職に向けた支援、家庭訪問、チャレンジプログラム(各種セミナー)などの支援を行っています。

## ②どこにあるの？

・高知県内では2つのサポートステーションを中心に5か所(サテライト含む)で支援が行われています。(右図参照)



## 南国市サテライトの「職業人セミナー」の紹介



南国市サテライトで定期的に行われている「職業人セミナー」の様子を紹介します。

社会人として活躍している方からお話しを聞くこのセミナーは、「働く」「生きていく」「学びなおす」ことについて考え、自立をするためのきっかけづくりを目的にしています。

11月5日に行われた今回のセミナーは、講師として「安田町ふるさと応援隊」の小倉祐輔さん・横田光貴さんに来ていただき、お二人が「どのような経験を経て、今の仕事に就き、現在どのような思いで、働いているのか」についてお話がありました。

参加者は、皆、真剣に、講師のお話を聞き、質問も積極的に出ていました。参加者の中には、「安田町ふるさと応援隊の活動」に参加したことがある方もおり、「安田町のためにがんばりたい」という熱意をもって働いているお二人の話は、参加者の「今後の生き方」の参考になったようでした。

## 各市町村の若者支援に、ご理解・ご協力をお願いします。

○地域若者サポートステーションでは、面談などの相談業務や就学・就労支援の他に、今回紹介したようなセミナーも行っています。各市町村での若者支援の参考にもなるのではないかと思います。今後とも各市町村の若者支援に、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。(担当:安部)



## 徳島県で開催 社会教育 研究大会

徳島県で、10月23日(木)・24日(金)と社会教育研究大会が開催されました。今回、全国大会と中国・四国大会が合同で開催されたので、全国各地から大勢の参加があったようです。高知県からも50名を超える参加でした。全体会のアトラクションでは、阿波踊りを間近で見ることができ、徳島県からの温かい歓迎が直に伝わってきました。

また、2日目の分科会も、南は九州、北は東北の事例報告を聞くことができ、実り多い研修になりました。



アトラクションの阿波踊りです。  
ダイナミックさと優雅さに圧倒されました。



### 全体会

#### <記念講演>

「自分の舞台の活かし方」という演題で、株式会社いんどり代表取締役社長の横石知二さんの講演がありました。平均年齢70歳の方たちが生き生きと働き、高収入を得ている「究極の高齢者福祉産業」と言われる会社を興した方です。人は、「役に立てた」と思えるものがあると自信になるとおっしゃっていました。横石さんの実体験から語る言葉に、これからの社会教育が進んでいくヒントや勇気をいただいたのではないのでしょうか。

少子高齢化、地域の衰退が問われている今、横石さんの話の中で「寄り添って行ける社会が地方には必要」という言葉が心に残っています。寄り添って行くためには、相手の立場に立って考えることが必要だと思います。地方で生きていく我々にとって、忘れてはならないことだと改めて感じました。

#### <シンポジウム>

テーマとして、「防災でつながる地域の絆」と題し、鳴門教育大学大学院の阪根教授をコーディネーターに迎え、4名のシンポジストの実践報告を聞きました。最後のまとめの中に、4つのキーワードが出てきました。

- ①協力・連携・協働・工夫
- ②柔軟に連携
- ③共に子どもたちを育てる。
- ④災害は、長い歴史の中に情報が含まれている。

地域でコミュニティーを作り、学校・家庭・  
地域が繋がっていくことが大事！

## 「高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラム！」

11月24日(月)、高知会館で開催されました。午前中は、絵本学研究者の正置友子氏が基調講演されました。

午後は、取組事例発表やビブリオバトル、読書活動体験などが行われ、取組事例では、本山町の発表を聞くことができました。

ビブリオバトルでは、緊張感漂う中、中高生の一生懸命自分の思いを語る姿に、聴衆者も真剣に聞き入っていました。子どもたちの頑張っている姿を見ていたら、本当に胸が熱くなります。

読書活動体験では、さまざまな講座がありましたが、どの講座もたくさんの方の参加者が熱心に取組んでいました。



本山町の  
事例発表



読書活動  
体験

「役に立てた」そう実感できたら嬉しいものですね。かわら版をご覧いただく方が何か少しでも役に立てるものになればいいな...と思います。

今年度、様々な行事や研修を通して出会いのありがたさを感じています。私の好きな言葉、「一期一会」がまさに生きるような仕事ができていることに感謝いたします。(青木)

連絡先: 高知県教育委員会事務局中部教育事務所  
TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167  
E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp  
担当: 安部・青木